元気な人紹介

西大田の肝っ玉母さん奮闘

西大田女性友の会　代表　小林　和子　さん

西大田女性友の会は、結成から23年が経過した。

元金尾公民館長の提案で、農家の女性の余暇の活用と交流を図るため、干柿づくりや料理教室を開催した。当初は9人でスタートした友の会も今は33人になった。

現在の活動は、弁当を作って「一人ぐらしふれあい訪問」を年3回。子ども育成会と協賛で「あいさつ・こえかけ運動」など。また、地区の行事に協賛して名物となった「走ろう、うどん」児童と一緒に地元産大豆を使って作った豆腐やおからハンバーグ。3カ月に一度、一人暮らしの高齢者を訪問して、資源回収。老人施設を訪問して、得意な歌や踊りを披露し喜ばれている。

時には会員の息抜きに、皆で観劇や、食事に行きワイワイキャーキャー。

会の活動は任意が原則で、無理のない範囲で参加してもらっており、「現在もめごとはありません」きっぱり答えられる小林さん。

料理が苦手な人でも事務は得意。何にも出来ん人は、明るさを出す。適材適所、活き活き生きるが目標。

少子高齢化が進むなか、少ない人数で、会を運営するには　ボランティア精神が不可欠。

女性友の会が、西大田地区の核となって、交流と絆を深めたい。地域の協力体制があっての会である。後継者の育成が今後の課題と話された。

福田義人

敬老会で日舞を披露

表紙紹介

3月24日せらにし青少年旅行村を起点に周囲の山間コースを走る、第3回せら黒川明神山クロスカントリー大会に県内外の健脚約500人が参加「駅伝の町世羅」にふさわしい大会になった。表紙は10㎞部門、黒川明神山をバックに「ふれあいロード」を力走するランナー。

編集後記

第1回定例会は、議案40件、発議3件、陳情7件を審議した。

初当選した議員6人にとっては、初の予算審議であり、予算書の見方、積算内訳、審議の方法などを理解するのに苦慮した。

議員にとっては、一般質問が最大のアピールの場であることから、一般質問のページの編集と構成を工夫した。また新たに「突撃インタビューちょっと聞かせて」を企画した。次はあなたのそばに出没するかもしれません。

これからも、親しまれる広報誌をめざし努力します。

（田谷幸奏）

議会広報広聴調査特別委員会

委員長／下原　嘉雄
副委員長／福田　義人
委　員／田谷　幸奏・岡田　武士
米重　典子・新原　浩

議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は6月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。

PRINTED WITH SOY INK この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。
UD FONT 分かりやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。